

嬉しいご縁

現在、私はアメリカ・カルフォルニアにて約2か月間の研修中です。東海岸にありますトロント本願寺に勤務していませんと、なかなか近くに浄土真宗のお寺がないため、他の開教寺院をみる機会はありません。ですので今回の機会に非常にたくさんの方の学ばせていただいています。

十一月二十四日の日曜日には、サンマテオ仏教会の日曜礼拝にてゲストスピーカーとしてお話させていただきました。

そんな中、お聴聞してくださいましたお同行の中にトロント本願寺にとって大切な方が。そうです。IBC創立時の開教使でした辻先生の奥様と娘さんたちです。

今回私がサンマテオで法話をするという話を聞きつけて来てくださいました。有難いご縁でございます。トロントの皆様によりしくとのことでしたのでお写真を共有させていただきます。



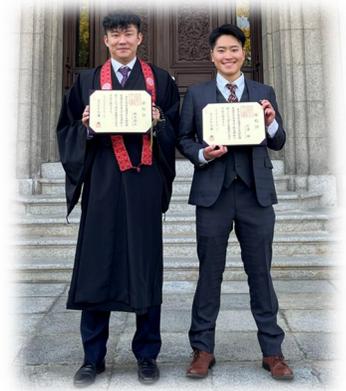
2人目の駐在僧侶着任のお知らせ

10月の祥月法要のゲストスピーカーとしてトロントに来てくれた杉浦輝（すぎうらひかる）先生が2025年の4月より、私と一緒にトロント本願寺の駐在僧侶として働いてくれることが決まりました。

皆さま、僕が今年の4月に着任した時のように暖かな雰囲気迎え入れてくださると幸いです。

合掌

橋本顕正



年次総会のお知らせ

二〇二五年一月二十六日 午後一時

Zoom は使用されません。年次総会のより詳細な通知は、来月号に掲載され、関連情報は 一月初旬にすべてのメンバーに電子メールで送信されます。

礼拝後、総会前には軽食が提供されます。総会では、すべてのメンバーが過去一年間の寺院の活動と運営結果について学び、寺院に影響を与える重要な問題について投票する機会が与えられます。皆様のご参加をお待ちしております。

トロント本願寺 理事会

モミジウエスの集まりがトロント仏教会であります！

モミジのサルクチームから、年末年始のご挨拶をさせていただきます！



トロント仏教会でのシニアの集まりは人気を博しています。様々なテーマの催し物、クラフトを楽しんだり、ためになる勉強会等もあります！

毎月二回、火曜日の午後12時から2時まで、仏教会の2階で行われています。

お茶菓子もお楽しみいただけます！

12月10日は、クッキーの飾りつけのワークショップです！

詳細やご質問は、モミジ ウエスト コーディネーターの「ベン・レビー」まで遠慮なくご連絡下さい。連絡先は、電話：416-407-0142 またはメール：momijiwest@momiji.on.ca です。

枕経について

ご家族の枕経を検討されている場合は、事前に当寺院の事務所へご連絡いただくようお願いしております。

ご希望の時間を調整し、亡くなられる前であれば、ご一緒に臨終の仏徳讃嘆のお勤めを、亡くなられた後であれば、故人を偲びながら、ご家族の皆さんと仏徳讃嘆のお勤めをさせていただきます。

当寺院に事前にご連絡いただくことにより、ご家族の質問への対応や必要な情報を提供することが可能となります。

枕経についての連絡、質問については、(416) 534-4302

あるいは、<tb@tbc.on.ca> (まづ) 連絡いただくようお願いいたします。

留守の場合はメッセージを残していただき、担当者が折り返し対応させていただきます。

トロント本願寺 理事会

駐在僧侶不在のお知らせ

十月七日から十二月十一日までの約二か月間正式に海外寺院における開教使になるためのプログラムをカルフォルニア・パークレーにて受講するためトロントを離れます。不在時にご迷惑をおかけしますが、年忌法要をご希望の方は時期をずらして十二月中旬以降に行うことを検討していただくと幸いです。

トロント本願寺 駐在僧侶

橋本 顕正

キャンプ・ルンビニバザーでの活動

今年、私はキャンプ・ルンビニの青少年たちをコーディネートして、毎年恒例のバザーで販売するさまざまな品物を作ることができて光栄でした。

数回の週末セッションを通じて、私たちはブレスレット、さまざまな携帯電話のチャーム、念珠、ネックレスを作ることができました。それだけでなく、保護者のみなさんも手作りの編み物を提供してくれました。

なぜこれをやっているのか、と疑問に思うかもしれません。今年のキャンプ・ルンビニの期間中に、私たちのコーディネーターは、愛する寺院のコテージに改修が必要であることに気づきました。

年間を通して定期的なメンテナンスが行われており、その維持を手伝ってくれるすべての人に感謝していますが、私たちは、資金集めによつてこのメンテナンスに貢献すべきだと考えました。

この数週末は、若者たちがキャンプの外で集まり、寺院でいくつかのアクティビティを行う素晴らしい機会でした。

参加できなかった人たちにもビーズキットを配布し、ビーズ細工のアクティビティに参加できるようにしました。

これは、キャンプ・ルンビニで今後予定されている多くの募金活動の一つにすぎません。

新年はさらに多くの募金活動を開催していきたいと考えておりますので、次回の募金活動にご注目ください。

ありがとうございます

アバゲイル・カタオカ



祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

十二月

日時：十二月一日(日)

(英語：午前十一時から)

講師：ジェフ・ウイルソン 先生

※十二月は英語法要のみとなります

一月

日時：一月五日(日)

(英語：午前十一時から)

(日本語：午後一時から)

橋本 顕正

オンラインでの参拝を希望される方は、その旨をabc@tbc.or.jpまでお知らせください。寺院事務所からzoom linkを送らせていただきます。

故人が祥月でない方もご遠慮なくご参拝下さい



成道会法要のお知らせ

成道会（じょうどうえ）は、浄土真宗においてお釈迦様の悟りを祝う法要です。この行事は、仏教の創始者であるお釈迦様が三十五歳の時にブツダガヤで菩提樹の下で悟り（成道）を開いたことを記念しています。

日時：十二月十五日(日)

午前十一時から

お釈迦様の教えを通じて、私たちが阿弥陀仏の本願に出会い、念仏の道を歩むことができるという仏徳を讃嘆させていただく場として、成道会が大切にされています。

餅つきのお知らせ

日時：十二月二十九日(日)

場所 地下 ソーシャルホール

※ 昼食は提供されます

申し込みは英語版をご参照ください。

ご支援のほどよろしくお願いいたします。



除夜の鐘のお知らせ

今年も、お寺で除夜の鐘をつきます。

二〇二四年の締めくくりとして、一年を振り返り、心を整える大切なひとときです。

日時：十二月三十一日(火)

午後十一時半から

法要後にひとり一回ずつ鐘をついてもらいます。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。



元旦法要のお知らせ

日時：一月一日(水)

(英語：午前十二時から)

(日本語：午後一時から)

法要の時間以外でも、午後三時まで自由にお参りいただけます。

この新しい一年の始まりに、トロント本願寺へお越しください。



佛心

二〇二四年十二月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

今月は布教活動についてお話したいと思えます。通常、私たちは仏教を布教宗教としては、考えない傾向があります。



私たちは他の宗教の布教者に会ったことがあります。彼らは仏教徒よりもはるかに強引です。そしてカナダの仏教は、アウトリーチ活動に特に積極的ではありませんでした。

これは、私たち自身のコミュニティを優先したり、良い隣人で、他の人を怒らせたくないよう、そして仏教徒が過去に深刻な偏見に遭遇したためです。だから私たちが常に一般大衆に対してできるだけ積極的に行動してきたわけではないことは理解できますね。

とはいえ、歴史家として、仏教は非常に布教に積極的な宗教であったことを指摘しなければなりません。仏教が北インドからどのようにしてそれほど遠くまで広まったと思いますか。南はスリランカ、東はペルシャ、北はシベリア、西は日本までどうやって広まったのでしょうか。

当時はインターネットも新幹線もありませんでした。数え切れない世代の僧侶、尼僧、そして熱心な在家の人々の献身的な努力のおかげで、仏教はアジア全土に（そして今では世界中に）広まることができました。

布教の問題は、私たちが布教活動を、私たちの

宗教を他人に押し付け、彼らの愛する信仰や慣習に取って代わろうとする。ことだと捉えたときに生じます。

一部のキリスト教徒や他の宣教師が私たちにそうしようとしたのは、まさにそのことです（ありがたいことに、押しつけがましくもない素敵なキリスト教徒もたくさんいます）。

しかし、仏教の伝道者は、自己顕示欲を満たすようなことはしません。私たちは、私たちの宗教がいかに素晴らしいかを証明するためではなく、それが仏教そのものの体現であるために、布教活動を行う必要があります。

布教活動が仏教の体現であると言うとき、私は何を意味しているのでしょうか。仏教の精神は、他人を助けることです。それが菩薩の道であり、他人に奉仕し、世界の苦しみを軽減しようと努めることによる精神性の道です。

法蔵菩薩は、五劫の間、他者のために修行し、そうして阿弥陀仏になることができました。今では、誰もそこまで努力することはできません（もちろん私には無理です！）、過去の多くの菩薩の例に倣って、今日それを応用することができます。

私たちが仏教を他の人と共有するべき理由は、仏教が彼らの役に立つかもしれないからです。結局のところ、このニュースレターを読んでいる皆さんが、仏教が役に立ったと感じただけであれば幸いです。もしそうであれば、その恩返しとして、仏教を必要としている他の人に仏教を提供するのが適切でしょう。

仏教にかかわる前のことを思い出さず。私は人生について多くの疑問と混乱を抱えた若い大学生でした。もし誰も私に仏教を勧めて

くれなかつたら、今の私の人生はどうなっていたかわかりません。

私が知っているのは、仏教が私に開かれたことで、私の精神生活が落ち着き、感謝と洞察を重視する人間になることができたということです。仏法との出会いから私が受けた恩恵をすべて挙げるのは難しいでしょう。誰かに圧力をかけられたり、洗脳されて仏教に入信させられたという意味で宣教されたわけではありません。むしろ、親切な人々が思いやりを持って私に仏教を贈り物とし、私はそれを受け取ることを選択しました。彼らが私にこの贈り物を与えるために時間と労力を費やし、拒絶や失望のリスクを冒してくれたことに、私は深く感謝しています。

多くの人々が、仏教の恩恵を受け、関心がある人々に仏教の贈り物を提供するために懸命に働いています。私たちの社会で苦しんでいる人々のために、さらに多くの人がそのような活動に参加することを願っています。もし他の人々が仏教自体が現時点では役に立たないと判断した場合（おそらく彼らはすでに非常に良い形の精神性を持っているでしょう）、私たちは菩薩の精神を表現できる他の方法を探すことができます。仏教は常に寛大な精神で、分裂の精神ではありません。そのため、仏教の布教活動が与える影響を恐れる必要はありません。世界を仏教に改宗させる必要はありません。しかし、仏教に触れることで恩恵を受ける人はたくさんいます。少し味わうか、完全に浸るかはあなた次第です。私たちが勇気を出して彼らを支援しない限り、彼らにその機会は決して訪れないでしょう。

トロント本願寺 開教使補

ジェフ・ウイルソン

日本語訳 橋本顕正